

実施報告

青少年体験活動総合プラン 小学校長期自然体験活動支援プロジェクト 小学校自然体験活動プログラム開発事業

企画事業名

「チャレンジ&ステイング in Mt.AKAGI」

ねらい

長期間の宿泊で、恵まれている日常生活をふりかえる体験をします。

長期間の自然の中での生活で、自ら考え行動しようとする体験をします。

荒牧小学校の合い言葉「自らをきたえる」体験をします。

「仲間と相談し考えながら、好き嫌いを言わずに完成させ・やり遂げる」体験をします。

自然の状態に気づき、環境について考えることのできる体験をします。

開催日 平成 20 年 8 月 17 日(日)～23 日(土)

参加者 前橋市立荒牧小学校 5 年生 公募 25 名(男子 14・女子 11)

主なプログラム

日	時間	プログラム	活動場所
8 月 17 日	13:30	参加者受付	荒牧小 交流の家 講堂 研修室 つどいの広場 レストラン赤城 浴室棟 第1研修室・宿泊室 宿泊室
	13:45	移動	
	14:30	開講式	
	15:00	「挑戦の旗」を作ろう	
	17:00	夕べのつどい	
	17:30	夕食	
	18:30	入浴	
	19:30	提灯作り・荷物整理	
	21:00	就寝	
8 月 18 日	06:30	起床	つどいの広場 レストラン赤城 交流の家 森林公園駐車場 森林公園駐車場 赤城山分校 赤城山分校
	07:10	朝のつどい	
	07:30	朝食	
	09:00	荷物整理と移動	
	10:00	登山口へ移動	
	11:00	登山開始	
	12:00	昼食	
	15:00	赤城山分校着	
	16:00	夕食準備・夕食	
	19:00	入浴	
21:00	就寝		

8 月 19 日	06:30 起床 朝食準備・朝食 09:00 登山準備 10:00 黒檜山アタック 12:00 昼食 15:30 赤城山分校着 16:00 夕食準備・夕食 19:00 入浴 20:30 提灯ナイトウォーク 21:30 就寝	分校 黒檜山 分校 黒檜山頂 覚満淵
8 月 20 日	06:30 起床 朝食準備・朝食 荷物整理・後片付け 09:30 少年自然の家へ移動 10:00 カッター体験 12:00 昼食 13:15 路線バス体験・乗車 13:45 路線バス下車 移動 14:15 荷物整理 15:30 洗濯体験 17:00 タベのつどい 17:30 夕食 18:30 入浴 20:00 自己をふりかえる (家族への手紙) 21:30 就寝	分校 少年自然の家 少年自然の家 少年自然の家食堂 少年自然の家バス停 北新地バス停 北新地バス停 交流の家 宿泊室 プレイルーム つどいの広場 レストラン赤城 第1研修室

8 月 21 日	06:30 起床 07:10 朝のつどい 07:30 朝食 08:30 荷物整理・移動 09:30 こんにゃく作り体験 12:00 昼食 13:30 テント泊準備 15:00 創作料理レシピ作り 17:00 タベのつどい 17:30 夕食 18:30 入浴 20:00 星空キャンプ 21:30 就寝	つどいの広場 レストラン赤城 センター棟 レストラン赤城 山のキャンプ場 センター棟 つどいの広場 レストラン赤城 浴室棟 多目的広場 山のキャンプ場
8 月 22 日	06:30 起床 07:10 朝のつどい 07:30 朝食 09:00 自然再生活動(植林体験) 12:00 昼食 13:30 うどん作り体験 16:00 創作料理と手打ちうどんの夕食 19:00 キャンプファイヤー 20:30 シャワー浴 21:30 就寝	つどいの広場 レストラン赤城 山のキャンプ場 レストラン赤城 音楽室 センター棟・屋根付き尾広場 センター棟前 センター棟 山のキャンプ場
8 月 23 日	06:30 起床 朝食準備・朝食 荷物整理・後片付け 11:00 ふりかえり・アンケート 12:00 所員からの贈り物(昼食) 13:20 移動 14:00 荒牧小着・解散	センター棟・屋根付き広場 山のキャンプ場 センター棟 センター棟 センター棟・屋根付き広場 交流の家 荒牧小 荒牧小

活動の様子
8月17日(日)



緊張感の中でのタベのつどい



「挑戦の旗」づくり



できあがった「挑戦の旗」に
明日からのチャレンジを誓う

8月18日(月)



赤城山登山の出発を前に！
登山第1日目 青少年交流の家 白川小学校赤城山分校
赤城山分校をベースキャンプ地としてテント泊



小雨の登山道と昼食



赤城山分校へ到着



「挑戦の旗」をベースキャンプに掲げる

8月19日(火)



赤城山登山第2日 赤城山最高峰アタック
赤城山分校(ベースキャンプ) 黒檜山 赤城山分校



黒檜山頂での記念撮影



下山途中の昼食



提灯づくり



「ナン」を焼いて夕食

8月20日(水)



赤城大沼でのカッター体験



前橋市立赤城少年自然の家 昼食風景



洗濯体験



8月21日(木)



地元の方を講師に
こんにゃく作りに挑戦



山のキャンプ場にテント設営





創作料理のレシピづくり



赤城農園で野菜の収穫
創作料理の材料にしました



8月22日(金)



手打ちうどん体験



森林再生活動 環境学習と植林体験



創作料理

自分たちでつくった「こんにゃく」と「うどん」を使って



提灯ナイトウォーク



8月23日(土)

ふりかえり

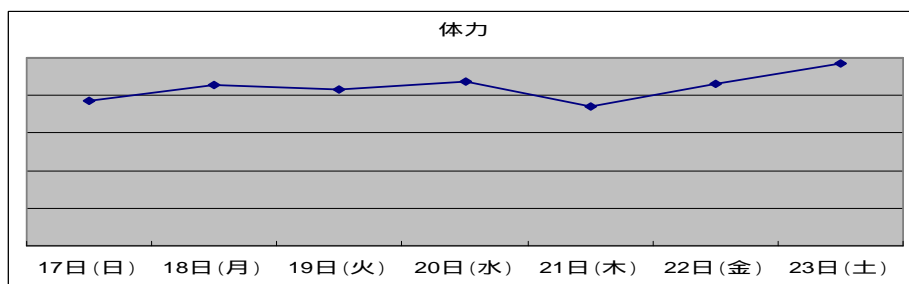
「挑戦の旗」を囲み 6泊7日をふりかえる



職員の手料理で会食 「焼きおにぎり」「豚汁」「豚バラのサラダ」

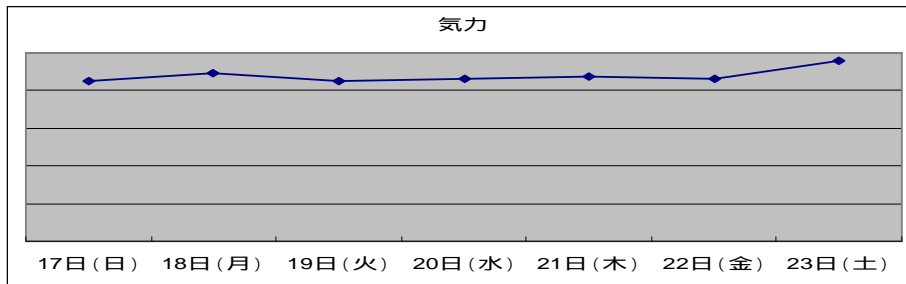


アンケート調査から(自己申告)
体力の状態



- 5 : 十分にある
- 4 : ややある
- 3 : ふつう
- 2 : ややない
- 1 : まったくない

気力の充実度



- 5 : 十分にある
- 4 : ややある
- 3 : ふつう
- 2 : ややない
- 1 : まったくない

ボランティアスタッフ数

- 17日 : 3名
- 18日 : 11名
- 19日 : 11名
- 20日 : 9名
- 21日 : 5名
- 22日 : 5名
- 23日 : 5名

目的を達成するために活動の構成や流れで工夫や配慮した点

- ・衣・食・住について、自らの手でやることをプログラムデザインの基本的な考えとした。
- ・6泊7日の前半部分を荒牧小学校(協力校)から要望のあった教育観の「自らをきたえる」、後半を教育課題の「仲間と相談・考えながら、好き嫌いを言わずに完成させる、やり遂げる」に沿ったプログラム配置とした。
- ・自然環境への意識高揚等をねらいとし、調理を主な作業とするプログラムにおいても、そのプログラムだけで終わるのではなく、次のプログラム(創作料理)につなげ、見通しを持ち活動する流れとした。

モデルプログラムを公立青少年施設や小学校に普及するにあたって

- ・日常生活の基本である衣・食・住をふりかえることを活動の基本とし、テントづくり、食事づくり、洗濯体験などのプログラムで、日常では他から与えられている生活環境に暮らしていることに気づく機会となった。
- ・6泊7日の長期にわたる生活にメリハリを付けるために、前(自分自身への挑戦)後(仲間との協調)半でプログラムの形に変化を付けた。
- ・登山については、ベースキャンプでのテント泊を伴う流れとしたことで、自問・葛藤できる時間をより長く確保することができた。また、成就感等の充実にもつながった。